

	学習指導要領	都立田園調布高校 学カスタンダード
(4) 諸地域世界の結合と変容	アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。 イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。 ウ 産業社会と国民国家の形成 産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。	[ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立] ・思想・芸術・科学などの分野におけるルネサンスの展開を理解する。 ・ドイツ・スイス・イギリスの宗教改革と対抗宗教改革の具体的な展開を理解する。 ・スペイン・オランダ・イギリス・フランス各国の興亡と三十年戦争の経過と結果を理解する。 [世界各地への進出と大西洋世界の形成] ・ヨーロッパ人による探検の事績を地図上で確認できるとともに、大航海時代の影響として商業革命と価格革命について理解する。 ・アジア市場におけるポルトガル・スペイン・オランダ・イギリス・フランス各国による覇権争いについて理解する。 ・アメリカにおける英仏の植民地争奪を理解する ・アメリカにおける砂糖やタバコのプランテーションにアフリカ系奴隷が労働力として使役された背景を理解する。 [産業革命] ・イギリスで最初に産業革命が起こった理由を理解する。 ・産業革命の結果発生した労働問題や社会問題を理解する。 [フランス革命、アメリカ諸国の独立] ・13 植民地の形成からアメリカ合衆国の成立までの過程を、諸外国の動きを含めて理解する。 ・フランス革命の勃発から進展の過程を、革命を主導した社会層の変化に着目しながら理解する。 ・ナポレオンの国内政策と征服活動について理解する。 ・ラテンアメリカ諸国の独立の経過を理解できる。 [19 世紀のヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革]

学習指導要領	都立田園調布高校 学カスタンダード
エ 世界市場の形成と日本 世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質とそこでの日本の位置付けを理解させる。 オ 資料からよみとく歴史の世界 主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。	・ウィーン体制の成立から動揺・崩壊の過程を理解する。 ・1848年にヨーロッパ各地で起こった一連の革命・民族運動の経緯を理解する。 ・東方問題とロシアの南下政策、ロシアの改革について理解する。 ・イタリアとドイツの統一運動の過程を理解するとともに、ビスマルク外交のねらいと内容を理解する。 ・アメリカ合衆国の領土拡大の過程や南北戦争後の経済的発展について理解する。 [世界市場の形成とヨーロッパ諸国のアジア進出] ・国際的分業体制におけるアジア諸国の位置付けについて理解する。 [オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革] ・西アジアにおいてワッハーブ派やウラービー運動、バーブ運動に見られるイスラーム改革運動やアラブ民族運動が起きたことについて理解する。 ・インドの植民地化を進める中で、イギリス東アジア会社の性格が変化していったことを理解する。 ・東南アジア諸地域でヨーロッパ諸国が大規模なプランテーション経営を展開したこととその影響を理解する。 ・アヘン戦争に至るイギリスの対中国政策の推移、南京条約・北京条約の内容について理解する。 ・太平天国の運動の民族主義的性格について理解するとともに、その後に展開された洋務運動の限界について理解する。 ・明治維新により近代化を進めた日本の対外政策について理解する。